

第 74 回広島県公共工事入札監視委員会議事録（概要）

開催日	令和3年9月15日（水）14時00分から16時00分まで
場所	※ オンライン開催
出席委員	松本委員（委員長）、内田委員、鳥谷部委員、半井委員
議題	<p>(1) 委員長の選任について</p> <p>(2) 入札及び契約手続の運用状況等の報告について</p> <p>(3) 抽出事案について</p> <p>①二級河川 総頭川水系 明神川 砂防設備災害復旧工事（平成30年災害第5099号） 【西部建設事務所】</p> <p>②ひろしま産学共同研究拠点材料MBR棟ほか1棟新築その他工事 【営繕課】</p> <p>③二級河川 野呂川水系 石ヶ鼻川 砂防激甚災害対策特別緊急工事 【西部建設事務所呉支所】</p> <p>④スポーツ交流センター真空温水ヒーター更新工事 【障害者支援課】</p>
審議対象期間	令和3年4月1日から令和3年6月30日まで
審議・報告内容	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	いずれの審議案件とも適正であると認められました。
担当部署	広島県土木建築局建設産業課 入札制度グループ TEL 082-513-3821（ダイヤルイン）

報告内容

議題 (2) 入札及び契約手続の運用状況等の報告について

- 入札方式別の発注工事件数は次のとおりである。

入札方式	件数
一般競争入札	85件
指名競争入札	83件
随意契約	23件
合計	191件

- 指名除外措置を行った件数は3件
 ○ 低入札価格調査を行った件数は5件
 ○ 入札契約過程に係る苦情申立て、入札談合情報、入札契約事務に係る働きかけ等は該当なし。

意見・質問

回答

- 随意契約の理由について、きちんと整理して記載していただけたら分かりやすくなるのではないかと思う。

- 随意契約の理由のうち、11番の二級河川三津大川水系蚊無川砂防設備災害復旧工事（平成30年災害第5214号）その5、19番の二級河川三津大川水系隠畑川砂防設備災害復旧工事（平成30年災害第5231号）その3については、近くの類似工事で指名競争入札をした際に1者しか応札がなかったとあるが、その落札率から著しく異なっていなければ、今回の価格設定は適切であると確認できると思う。

それぞれの落札率は99.92%、100%と高めであるが、そういった確認はしているか。

- これまでも同様のご意見をいただき、発注機関に指導してきているところではあるが、引き続き、委員会の資料が良くなっていくよう努めさせていただきます。

- 11番の工事の隣接工事は、三津大川水系蚊無川砂防設備災害復旧工事（平成30年災害5213号）その1という工事で、予定価格が3,069万5,000円に対して落札額が3,068万円で、落札率は99.95%である。

もう1箇所の工事の隣接工事は、三津大川水系隠畑川砂防設備災害復旧工事（平成30年災害第2111号）であり、予定価格が2,940万9,000円に対して落札額が2,940万円で、落札率は99.97%である。

いずれの隣接工事も100%に近いような落札率となっている。

【建設産業課長／技術管理担当監】

審議内容

議題 (3) 抽出事案について

抽出事案1 二級河川 総頭川水系 明神川 砂防設備災害復旧工事（平成30年災害第5099号）

意見・質問

回答

○ 低い金額で入札された者の工事費内訳書において、工事名に、平成30年災害第5099号の記載がなかったため、適切ではないと判断され失格となっているが、これは一見して誤記というか、実質的に不適切な記載とは思えない。

○ 追記や再提出させるような制度はないのか。

○ 今回の平成30年災害復旧工事は、同じ河川で同じような災害復旧工事が多くある。査定番号を、例えば5099, 5098とし連続で発注する場合も全くないわけではないので、この工事を特定した表記ではないということは、適切ではないと判断できる。

○ そういったことは認めていない。要領を策定しており、工事名が適切でない場合は失格とする旨を示している。

【建設産業課長／西部建設事務所長】

議題 (3) 抽出事案について	
抽出事案2 ひろしま産学共同研究拠点材料MBR棟ほか1棟新築その他工事	
意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 8者が同じ価格で入札されているのはどうい うことか。 ○ 総合評価で3者が同じ評価値になるというの は初めて見るような気がするが、適切な評価方 法に基づいた結果なのか。 ○ 公告文や抽出事案説明書において、予定価格 などが税抜きと税込みで混在しており、表記を 統一できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査基準価格に合わせて入札されたのではな いかと思う。 ○ 3者の点数は全て同じではなく、評価項目ご とに異なっているが、最終的に合わせると偶然 同じ点になっている。今回のように総合評価で くじになることは、そんなに多い事例ではない と思う。 ○ 抽出事案説明書については委員会用に作成し ているものであるため、公告文等に用いている 価格と表記を統一させていただく。 <p style="text-align: right;">【建設産業課長／営繕課長】</p>

議題 (3) 抽出事案について	
抽出事案3 二級河川 野呂川水系 石ヶ鼻川 砂防激甚災害対策特別緊急工事	
意見・質問	回答
○ 2者応札で、どちらも高い落札率であったことはどう考えるか。	<p>○ 今回の施工場所である安浦町というところは、呉支所管内において平成30年災害で一番被害が大きかった地区である。現場へのアクセスや現場条件も非常に悪く、また、周辺で災害復旧工事等が多々出ており、入札不調もかなり多いエリアである。</p> <p>業者としては、手持ち工事が多くある中で、利益率が低くなるのであれば今回の工事を積極的に取りたくないという意識が働いたのではないかと推測する。利益を確保するために、予定価格に近い額で応札されたのではないかと考えている。</p> <p style="text-align: right;">【西部建設事務所呉支所長】</p>

議題 (3) 抽出事案について	
抽出事案4 スポーツ交流センター真空温水ヒーター更新工事	
意見・質問	回答
<p>○ これまでは参考見積りを提出した者と契約に至ることが多かったように思うが、違うケースもまれにあるのか。</p> <p>○ 最終的に選定された機器は、元のメーカーとは変わったのか。</p> <p>○ 元のメーカーからも見積りを貰ったのか。</p> <p>○ 見積金額を見ると、契約した者と別の1者が近い金額であるが関連性はないのか。</p> <p>○ 見積金額には、機器本体の金額とそれを取り付けるための技術料で構成されていると思われるが、各者の内訳構成を記載した見積りがあれば、なお理解しやすかったと思う。</p>	<p>○ ケースバイケースだと思う。今回は、見積金額が一番低かった者と契約している。</p> <p>○ 最終的には同じメーカーになっている。</p> <p>○ 設置していたヒーターが壊れたので、施設を管理している業者に参考見積りを作成していただき、それを基に設計金額を定め、当該業者を含む3者から見積りを頂戴した。メーカーは、この3者とは別の業者である。</p> <p>○ 関連性はなく、偶然である。</p> <p>○ 見積書に内訳まで記載させて提出させている場合においては、参考資料としてお見せできるようにしたいと思う。</p> <p style="text-align: right;">【建設産業課長／障害者支援課長】</p>